

かつたっ子

15の春プロジェクト

平成 27 年 12 月 8 日 発行

勝田中学校区保幼小中連携
つなぐ推進委員会だより

発行責任者

No. 3

勝田中学校長 西村 睦美



心と命の教育講演会 (10/13)
講師：市原千代子さん



梶並小学校・勝田東小学校に中学校
から参観に行きました。(10/22)



勝田小学校・梶並小学校・勝田東
小学校 5, 6 年交流 (10/23)



勝田ひまわり園に中学生が保
育体験に行きました。(11/18)

2 学期は、各校・園ともに運動会や発表会、研究授業など、ご家庭や地域の皆様に来校・来園いただく機会の多い学期でした。

かつたっ子 15 の春プロジェクトでも、5 校・園の子どもたちの交流がさまざまな形で行われました。幼児から中学生まで、交流を通して学ぶ思いやりの心や互いを尊重する気持ちを育てます。

そして、こうした取組の一つ一つが、かつたっ子の未来・夢を切り拓く一歩につながるよう、今後も交流を深めます。

ユニバーサルデザインの研修

10 月 28 日 (木) には、勝田東小学校で 15 の春プロジェクト第 2 回合同研修会を開催しました。東京都日野市教育委員会教育部教育支援課の特別支援教育総合コーディネーター宮崎芳子先生をお招きして、『通常学級とする特別支援教育と授業のユニバーサルデザイン』という演題で研修しました。児童・生徒一人一人誰もが理解しやすい授業を目指して今後も小・中学校でともに工夫していきます。



デジタル教科書の研修



11 月 26 日 (木)、勝田小学校でデジタル教科書を使った授業研究会が行われました。美作市内小学校でのデジタル教科書導入に先駆けて、勝田小学校が研究を進めています。中学校では英語科に導入されています。子どもたちの理解を助ける教材として工夫を重ねます。



15の春プロジェクトで取り組んでいます

家庭学習の習慣づくりとメディアコントロール

小学校では、生活記録を使って習慣づくりをしています。梶並小学校では、宿題・家庭学習・読書の時間を記録して保護者にもコメントを記入していただくことで、家庭学習時間の確保を目指しています。勝田東小学校では、家庭学習チェックカードにより、子どもたち自身が家庭学習を自覚して取り組めるように工夫しています。勝田小学校は、年に6回程度「予習・自学週間」を設定して家庭学習の強化を進めています。「生活バッチリカード」を使ってメディアに触れる時間を1時間以内にしようと取り組んでいます。勝田中学校では、定期考査にあわせて「テスト学習計画表」と「メディアコントロールの取組」を同時期に行い、生徒自身に日々の記録をとらせることで家庭学習習慣形成とメディアに対する自己抑制力向上を図っています。どちらにも保護者のコメント欄を設け、家庭での励ましをお願いしています。

このように、小学校・中学校がともに家庭学習の習慣形成を意識付け、家庭での協力をお願いすることで、家庭学習の時間が少ないというかつたっ子の実態を改善できるよう、努力しています。11月3日の美作市制11周年記念事業においても、本番の合唱までの長い待ち時間、勝田小学校の子どもたちは四字熟語のプリントを、勝田中学校の生徒たちは『滴一滴ノート』を、それぞれの控え室で周囲のざわついた雰囲気の中、ひたむきに書き続けるという姿を見せました。「継続は力なり」小学校と中学校が手を取り合って、授業や課題に真剣に取り組む、宿題は完全にやり遂げて提出するなど、学校という学びの場で、「当たり前のことを当たり前にする」ことを徹底して、粘り強く繰り返してしつけていけば、子どもたちの力は伸びるということを実感した場面でした。

まさに、「凡事徹底」です。かつたっ子の凡事徹底を進めます。

スマホ・ケータイの危険を知る

「おかやま教育の日」11月1日付けで岡山県教育庁教育政策課が発行した教育通信『こころのわ』～学校・家庭・地域社会の「心」を結ぶ～No.25を全家庭にお配りしました。

その中に、「めざせ！+15分」と「みんなで-15分」がありました。

「^{ふらす}+15分は、今より家庭学習の時間を増やす。 ^{まいなす}-15分は、今よりメディアの時間を減らす。」冬休み前に再確認して、見直しましょう。

どちらも、ご家庭のご協力なしではできないことです。家庭に帰って子どもたちが学習する時には、テレビを消したり、家族で読書をしたり、落ち着いた学習環境づくりにご協力下さい。また、子どもたちが家庭でスマホやケータイ、インターネット等を使ったゲームやメール、TV・VTR視聴にかかる時間を減らすための「我が家ルール」を決めていただくなど、使い方の工夫ができるよう、ご協力下さい。

また、小学校・中学校共に、子どもたちや保護者にいろいろな機会を通して、SNS社会（インターネットでつながれた情報ネットワーク社会）に対応して、スマホやケータイに潜む危険性や危険防止策について知らせています。これからも、さまざまな学習機会を設けますが、ご家庭でもフィルタリング契約や時間制限、課金の注意など、しっかり話し合ってください。食事時間や家族の対話の時間には、メールやLINEをしないなど、お互いの顔を見ながら、しっかり対話して下さい。



ぼく、スノボくん。
「みんなで-15分」
スマホの使い方を工夫しよう。